2019 年 11 月 7 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
コボット（協調ロボット）に展開する AI ベースのソフトウェアプラットフォームの開発を手掛ける スマート・ロボティックス社への投資実行

―新たなソフトウェアアプリケーションの開発を加速―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、AI ベースのソフトウェアプラットフォームの開発を手掛ける Smart Robotics, Inc.（本社：オランダ、アムステルダム。以下、スマート・ロボティックス社と表記）に対する投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。スマート・ロボティックス社は今回の調達資金を活用し、パレタイジングおよびアイテムピッキングアプリケーションの展開を加速すると同時に、新しいソフトウェアアプリケーションの開発を加速していきます。

■投資先企業の概要

スマート・ロボティックス社は、オランダで 2015 年に設立されました。スマート・ロボティックス社はパッケージングおよびロジスティクスアプリケーション向けのスマートで安全でシンプルなロボットソリューションの迅速な導入を可能にする機械や装置に依存しない AI ベースのソフトウェアプラットフォームを開発。インテリジェントソフトウェアとコボット（協調ロボット）システムを統合し、コボットの導入と構成を容易にし、信頼性が高く、使用が柔軟で、訓練を受けていないオペレータでも操作がし易いソフトウェアプラットフォームは、e コマース、製薬、一般消費財などの市場においてコボットへの迅速な導入を可能にしています。さらに、スマート・ロボティックス社はディストリビューターと提携し、販売と配送をグローバルに拡大しています。

本件プレスリリースの内容を含め、詳細についてはスマート・ロボティックス社のホームページ：https://www.smart-robotics.nl をご参照ください。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2019 年 9 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com